

とまれ足型マークの塗布



校外補導委員会は子どもたちが安全に過ごせるようにするための活動を行っています。

校外補導委員の方々による“とまれ足型マークの塗布”が行われました。

足型マークは、足型が型抜きされたボードを置き、ホワイトスプレーを吹きかけてマークを塗布します。“安全気をつけMAP”を元に、学区内の見通しの悪い危険箇所や曲がり角、子どもが飛び出してしまうような公園の角、車通りの多い道など、一度止まって安全確認をして欲しい所を重点的にチェックしながら横断歩道の両端に塗布を行います。今回は明倫公園周辺と新出来公園周辺、線路の高架沿いなどに新しくマークを付けました。

足型マーク付近にいた子どもに聞いた所、「気にした事なかったから（足型マークがあるのを）知らない。」という答えでした。お子様と一緒に歩く際に道路の交通安全のポイントとして確認してみてもはいかがでしょうか。



H26年10月に行われた様子